

## トピックス

1号機の第18回定期検査を開始しました。協力企業の皆さまとともに、安全最優先の徹底でゼロ災害を目指します。

女川原子力発電所1号機は、2月14日より第18回定期検査を開始しました。今回の定期検査では、通常の検査項目に加え、原子炉や圧力抑制室の水を抜いた状態での弁の点検、原子炉水を循環させる配管の点検・改善工事などを実施するため、約10ヶ月の検査期間を予定しています。

定期検査の開始にあたり、発電所では所員・協力企業の皆さま約900人が参加し、定期検査期間中のゼロ災害を誓い合う『ゼロ災害決意大会』を開催しました。協力企業の皆さまとともに、安全を最優先に定期検査に取り組んでいきます。



▲1号機原子炉建屋の外観



▲ゼロ災害への決意を表明しました

### 【発電所の運転状況（2月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	2月14日より第18回定期検査を開始しました
2号機	運転中	2月27日に営業運転を再開しました
3号機	運転中	順調に運転しています

## トピックス

放射線管理区域での火災を想定した消防訓練を実施しました。

2月22日、自衛消防活動の迅速・的確な展開および消防当局とのスムーズな連携を図ることを目的に、放射線管理区域内消防訓練を実施しました。当日は、1号機廃棄物処理建屋で火災が発生したとの想定のもと、通報連絡訓練、放射線管理区域への緊急入退域訓練、消火訓練などを、石巻広域消防本部と合同で行ないました。



▲建屋内での訓練の様様



▲石巻広域消防本部より訓練の講評をいただきました

## トピックス

3号機の第4回定期検査に関する関係自治体の確認調査が行なわれました。

3号機の第4回定期検査の終了を受け、2月8日、宮城県・女川町・石巻市による確認調査が行なわれました。関係自治体の皆さまには、定期検査に関する書面調査のほか、定期検査中に確認された軽度な事象について、現場で設備・機器の改善状況をご確認いただきました。



▲書面調査の様様



▲原子炉建屋内における現場確認



ふれあい

## サタデーサロン『おいしい楽しいIHクッキング教室』を開催しました。

女性を中心に大好評をいただいている女川原子力PRセンターのカルチャー教室『サタデーサロン』では、2月23日、テレビでおなじみのフードコーディネーター横須賀真奈美さんを講師に、IHクッキング教室を開催しました。

ご参加の皆さまには、横須賀真奈美さんのオリジナルレシピをIHクッキングヒーターで簡単に料理して、おいしい・楽しいひとときをお過ごしいただきました。



▲横須賀真奈美さんがやさしく指導



▲旬の素材を使った料理の完成です

ふれあい

## 『電気記念日イベント～3Dシアター & スイーツフェスティバル～』を開催します！

3月25日は、日本で初めて電気の明かりがともった電気記念日です。女川原子力PRセンターでは、これを記念したイベントを3月22日と23日の両日にわたり開催いたします。

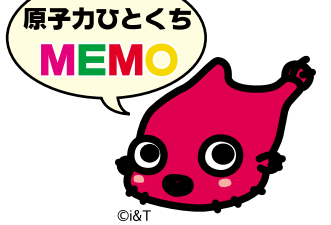
「恐竜キング」の大迫力立体映像や県内の有名10ブランドのスイーツなどをご用意して、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



©SEGA ©ダイモビクチャーズ

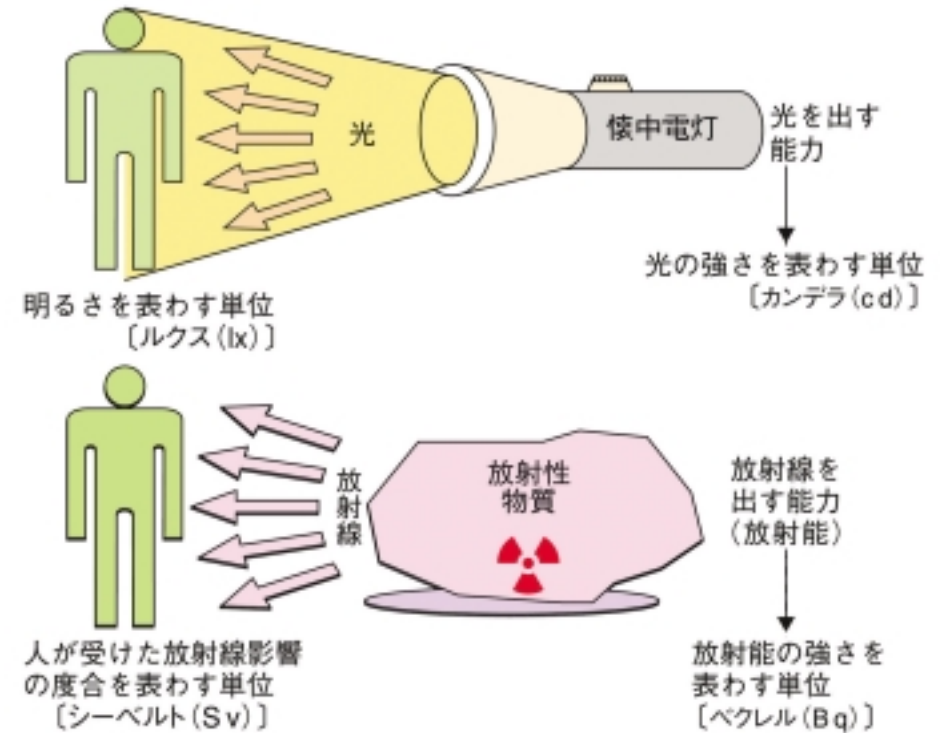
## \* 放射能と放射線の違い \*

「放射能」と「放射線」は、言葉がにているため混同されがちですが、表す意味はことなっています。下の図のように懐中電灯と光の関係にたとえると、懐中電灯が持つ光をだす能力が「放射能」、懐中電灯から放たれる光が「放射線」になります。放射能の量は「ベクレル (Bq)」<sup>※1</sup>、人が放射線から受ける影響は「シーベルト (Sv)」<sup>※2</sup> という単位が使われています。原子力発電所で働く人は、体を受ける放射線の量を厳しく管理されています。



- ※1 ベクレル：1秒間に1回放射線を放つ物質の放射能の量が1ベクレルになります。平均的な日本人（体重60kg）の場合、体内に約7,000ベクレルの放射能があります。
- ※2 シーベルト：人が放射線を受けたときの影響度合いを表しています。1シーベルトの千分の一が1ミリシーベルト (mSv) となります。私たちは日常生活の中で自然放射線を年間2.4ミリシーベルト（世界平均）受けています。

## 放射能と放射線



出典：電気事業連合会「原子力・エネルギー」図面集2007年版